

酸化亜鉛水和剤はモモせん孔細菌病の防除に有効である

福島県農業総合センター 果樹研究所 病害虫科

- 1 部門名 果樹－モモ－病害虫防除
- 2 担当者名 七海隆之、菅野孝盛、日下部翔平
- 3 要旨

モモせん孔細菌病は、防除効果を有する薬剤が少ないため、生産現場から新規薬剤の登録が求められている。そこで、酸化亜鉛水和剤（商品名：IC ジンク水和剤）の本病に対する効果を落花期～幼果期の散布で検証した結果、本剤が有効であることが明らかとなった。

- (1) 2018年及び2019年に、「あかつき」を対象として酸化亜鉛水和剤を落花期から2～3回散布し、新梢葉及び果実での発病状況を調査した。なお、発病を促すために、本病原菌の懸濁液（約 10^7 cfu/ml）を適宜噴霧接種した。
- (2) 2018年及び2019年ともに、対照薬剤であるオキシテトラサイクリン水和剤（商品名：マイコシールド）とほぼ同等の防除効果を示し、薬害の発生も無かったことから、本剤がモモせん孔細菌病に対して有効であることが示された（表1、表2）。
- (3) 本剤は、2023年11月22日付けで農薬登録となった。

表1 モモせん孔細菌病に対する防除効果（2018年）

供試薬剤	希釈倍数	新梢葉調査		果実調査		薬害の発生
		調査葉数	発病葉率 (%)	調査果数	発病果率 (%)	
酸化亜鉛水和剤	1,000倍	223.7	3.1	50	0	無し
オキシテトラサイクリン水和剤	2,000倍	231.7	5.1	50	0	無し
無処理	—	199.3	9.0	50	0	—

※散布は4/27と5/6の合計2回、調査は5/29に実施。数値は3反復の平均値。

表2 モモせん孔細菌病に対する防除効果（2019年）

供試薬剤	希釈倍数	新梢葉調査		果実調査		薬害の発生
		調査葉数	発病葉率 (%)	調査果数	発病果率 (%)	
酸化亜鉛水和剤	1,000倍	305.7	7.4	50	0	無し
オキシテトラサイクリン水和剤	2,000倍	284.0	5.8	50	0	無し
無処理	—	260.0	19.1	50	4.7	—

※散布は5/9、5/20、5/28の合計3回、調査は6/11に実施。数値は3反復の平均値。

4 成果を得た課題名

- (1) 研究期間 平成28～令和2年度
- (2) 研究課題名 安全で効率的な新農薬・新資材等の実用化

5 主な参考文献・資料

- (1) 七海隆之 菅野孝盛 柳沼久美子, 「モモせん孔細菌病に対する酸化亜鉛水和剤の防除効果」, 日本植物病理学会報 87巻 第3号(2021), P191.